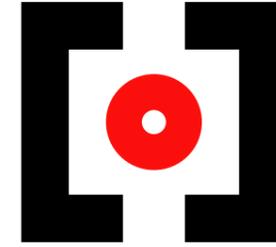


● 京都大学ICT連携推進ネットワーク

『京都大学ICTイノベーション2008』を機に、『京都大学ICT連携推進ネットワーク』が発足します。このネットワークは、情報学研究所・学術情報メディアセンターの教職員・研究者・大学院生と、学外の個人・企業・NPOなどから成り、産官学連携、学学連携、社学連携の基礎となるヒューマンリレーションの構築を目標とします。京都大学らしい多面的な価値観に基づく交流に、ぜひご参加ください。なお、当日の交流会は、連携推進ネットワークの発足パーティを兼ねておりますので、こちらも合わせてご参加ください。



京都大学ICTイノベーション2007より



● 参加申し込み方法

必要事項を明記のうえ、E-mailまたはFAXでお申し込みください。Webページ登録画面からも、お申し込みいただけます。

受付締切日：
2008年2月12日(火)

必要事項：
会社・団体名、氏名、所属、役職、住所、電話番号、
E-mail、交流会参加(3,000円)の有無

申し込み方法：
電子メールによる申し込み先
ict-innovation@i.kyoto-u.ac.jp
FAXによる申し込み先
075-322-5348

FAX送信用

会社・団体名				氏名		
所属				役職		
住所	〒					
電話番号	E-mail		交流会参加(3,000円)		有・無	

本申込書にご記入頂いた個人情報については厳重に管理し、本事業に関する参加申込の受付、連絡・案内、事務手続、参加者名簿作成にのみ使用します。また、ご本人の同意なしに第三者に開示・提供することはありません。

● 問い合わせ

京都大学ICTイノベーション2008事務局

(担当/京都市リサーチパーク株式会社 倉地)

TEL 075-315-8522

FAX 075-322-5348

Email ict-innovation@i.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www.i.kyoto-u.ac.jp/ict-innovation/2008/>

京都大学 ICTイノベーション2008

京都大学 大学院情報学研究所・学術情報メディアセンターの教職員・研究者・大学院生のコンテンツ、ソフトウェア、アルゴリズムを一挙にご紹介する産学マッチングイベント『京都大学ICTイノベーション2008』を開催いたします。

大好評の昨年に続き2回目です。今年は、若手研究者、大学院生の展示に特に力を入れています。ICT系産業や関連産業で共同研究やライセンス等のコラボレーションに関心をお持ちの企業・ベンチャー企業の方々の多数のご来場をお待ちしています。



2008年2月20日(水)

午後1時～5時30分(終了後交流会)

京都大学 百周年時計台記念館2階 国際交流ホール

入場無料(交流会有料)・要事前申し込み

<http://www.i.kyoto-u.ac.jp/ict-innovation/2008/>

【会場への交通手段】

- 京阪[出町柳駅]より
徒歩約20分 または
市バス系統201「祇園 みぶ」行
- JR/近鉄[京都駅]より
市バス系統206「東山通 北大路バスターミナル」行
- 阪急[河原町駅]より
市バス系統201「祇園 百万遍」行 または
市バス系統31「東山通 高野・岩倉」行
- 市バス停留所「京大正門前」下車、徒歩約5分

主催：京都大学大学院情報学研究所、京都大学学術情報メディアセンター、京都大学産官学連携本部
後援：総務省、文部科学省、経済産業省、京都府、京都市、京都商工会議所、京都産学公連携機構、財団法人京都高度技術研究所、京都大学グローバルCOEプログラム「知識循環社会のための情報学教育研究拠点」(以上、予定)

● 主催者挨拶

京都大学 大学院情報学研究科 研究科長
富田 眞治



京都大学情報学研究科は1998年に旧情報工学、数理工学、電気系の通信・集積回路部分などを主な母体として誕生いたしました。「情報学」は工学のみならず社会・人文科学などとの融合を目指して命名されました。以来、情報学の深化を図るとともに、情報学の裾野を拡大する努力をしてまいりました。本年度採択されたグローバルCOE「知識循環社会のための情報学教育研究拠点」をはじめとしたプロジェクトなどから多数の先進的な研究成果が挙がっております。2007年の京都大学ICTイノベーションには600名を越す方々のご参加があり、京都大学情報学研究科への熱い期待を頂きました。今年度のICTイノベーションには従来にも増して魅力ある研究成果を提示させていただきますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

● 発表タイトル (学内60件)

- 大学院情報学研究科 数理工学専攻
「詰め込み問題に対する球モデルによるアプローチ」
「面積情報を持つグラフ構造の直交描画手法」
「非線形システムの同定」
- 大学院情報学研究科 複雑系科学専攻
「デジタル制御理論による新しいマルチメディア信号処理」
「カオスを用いた効率の良い流体混合方法の研究」
「高速多重境界要素法による大規模電磁場・弾性場解析」
- 大学院情報学研究科 社会情報学専攻
「マルチエージェント交通シミュレーション」
「Language Grid Playground」
「地球観測データ統合利用のための検索フレームワーク」
「Kikori: XML情報検索システム」
「Webアプリケーションにおけるプライバシー保護」
「ソーシャルブックマークを利用したWeb検索結果の再ランキング」
「インタラクティブリランキングと情報補完ブラウザ」
「RDB環境におけるWebからの知識獲得とその視覚化」
「Web情報の集約による信頼性判断支援システム」
「磁気メモリ(MRAM)技術」
- 大学院情報学研究科 知能情報学専攻
「PhotoChat:写真と手書きメモの共有ツール」
「PositLog - 絵地図型Web構築システム」
「会話文脈の流れに応じた関連情報の自動提示システム」
「構造的言語処理による大規模ウェブページの自動分類」
「構造的言語処理を指向する用例ベース機械翻訳システム」
「多視点映像を用いた3次元ビデオの生成」
「話したくなる応答を行う対話システムの構築」
「物体の自己投射影を利用した不定形近接光源の推定」
- 大学院情報学研究科 通信情報システム専攻
「組合せゲームのアルゴリズム開発」
「FFT等化器におけるフェージング歪みの補償法」
「製造ばらつきを利用したFPGAの速度と歩留まり向上」
「無線マルチキャストにおけるロス補償手法」
「ビット・ベクタを利用した選択的命令再発行機構」
「協力マルチホップ無線伝送方式の研究開発」

京都大学 学術情報メディアセンター センター長
美濃 導彦



学術情報メディアセンターは、情報基盤とメディア技術に関連する研究を推進しており、大学内の情報基盤を実際に構築してサービスを提供している情報環境部と共同して研究成果を実利用することを目指しています。したがって、センターで行われている研究は実用に近いものが多く、情報学研究科と連携して、京大の情報の存在価値を社会に示していくと同時に、積極的に産学・社会・学学連携を進めていきたいと考えています。

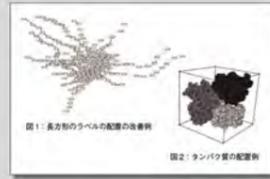
- 大学院情報学研究科 システム科学専攻
「離散値入力型制御系のためのフィードバック変調器」
「XBW車両の横加速度制御則とインタフェース設計」
「不便の効用を活かすシステムデザイン」
「モバイルWiMAXのための通信路応答推定法」
「スケラブル映像配信に向けた予測再送制御方式」
「ベイズ統計的方法に基づく画像超解像」
- グローバルCOEプログラム「知識循環社会のための情報学教育研究拠点」
「大規模データ解析のための特異値分解アルゴリズムとその応用への取り組み」
「カレンダーを中心としたクロスメディアサーチ」
「視覚障害者と晴眼者とのマルチモーダル情報保障技術」
「能動知覚と行動模倣に基づく特徴抽出と他者発見」
「バイオリギングによる海洋生物の行動情報の取得と理解」
「神経因性疼痛発生のメカニズム」
「3次元ビデオのインタラクティブ操作のための動作記述」
「Natural Listening for a Humanoid Robot」
「離散値信号を含む制御系のための分散型最適動的量子化器とその応用」
「ユーザの感性に配慮したスキル可視化の支援に関する研究」
「利用者参加のもの作りにおけるフィールド・コラボレーターの育成」
「複雑な軌跡を描く移動音源の定位システムの開発と評価」
「Webと実世界を横断する情報活用プラットフォーム」
「選択型コンテンツの放送型配信システム“BroGrid”」
「逆算法に基づく詰将棋の列挙」
「体温調節系に備わる遮断スイッチ」

- 学術情報メディアセンター
「電子証明書を利用したシングルサインオン認証と認可処理」
「SCTP におけるポリシーベースのアドレス選択機構」
「大規模文書を知識ベースとする音声対話エージェント」
「多目的進化計算の工学応用」
「ICT支援による外国語教育支援システムの開発」
「映像コンテンツ取得を補助するエージェント」
「T 2 K オープンスパコンと民間利用」
「e-learning中の学習者の非言語情報の記録」

● 発表例 (その他60件以上 出展)

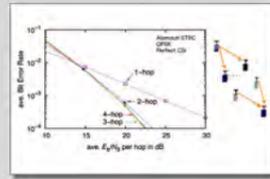
大学院情報学研究科 数理工学専攻
**詰め込み問題に対する
球モデルによるアプローチ**

詰め込み問題とは、与えられた図形を容器の中に図形の重複がないように配置する問題で、図形の種類、配置の制約、容器の形状などにより様々なバリエーションがあり、広く応用のある重要な問題です。本研究は、この問題に対する汎用的なフレームワークとして、配置する図形を二次元なら円、三次元なら球の集合で、近似することで任意の図形の自由回転を許す状態で配置を求めるというアプローチを提案しています。



大学院情報学研究科 通信情報システム専攻
**協力マルチホップ無線伝送方式の
研究開発**

遍在する多数の無線機間での協力した無線中継によって実現する協力マルチホップ無線ネットワークは、総送信電力の削減や面的周波数利用効率改善が可能で、ユビキタス時代の通信として有望です。このネットワークでは繰り返し中継によって生じる伝送特性の劣化が大幅に抑制できます。伝送特性の理論的な解析、マルチパス伝搬路に対応できる無線中継方式、中継局同期方式、試作装置による伝送実験等、最近の研究成果を紹介します。



グローバルCOEプログラム
「知識循環社会のための情報学教育研究拠点」
**視覚障害者と晴眼者との
マルチモーダル情報保障技術**

視覚に障害のある人と晴眼者とがともに生涯学習のコンテンツをマルチモーダルに知覚可能な情報保障ロボットビジョンシステムです。講演スライドに画像処理アルゴリズムをほどこして触知可能な程度に線分量を制限し立体コピーし、視覚障害者がどこに触覚の注意を向けているかを特定するため、立体コピー上で探索的に動かす視覚障害者の手先位置を同定して必要な情報保障を実施します。



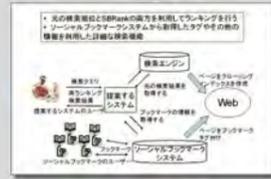
京都大学ICT連携推進ネットワーク
**産学連携推進
ソーシャルネットワークサービス**

産学間の技術ニーズ・シーズの効率的マッチングのためのコーディネーション基盤として、3000人を超える大学・企業関係者をユーザとした連携推進SNSを2007年12月より運用開始します。大学側は産業分野への転用を狙う技術についての紹介記事をSNS上で公開すると共に、既存のWeb上のコンテンツとSNSコミュニティ間に双方向のリンクを作成し、技術アビールの場を構成します。企業側は、本SNSが提供する高度なKnow-Who検索機能を活用、技術シーズを持つ大学研究室を検索し、コミュニティでの交流により連携可能性を模索することが可能になります。



大学院情報学研究科 社会情報学専攻
**ソーシャルブックマークを利用した
Web検索結果の再ランキング**

近年、PageRankに代表されるリンクベースのコンテンツ評価の信頼性が揺らいでいる一方で、ソーシャルブックマークなどのユーザー主導でWeb上の価値のある情報を集約・共有するためのサービスが広く利用されるようになってきています。本研究ではここで利用可能な、Webページには含まれない情報を用いることでユーザーの検索結果の直感的な理解を助け、また対話的に再ランキング可能なシステムを提案・実装し評価を行います。



大学院情報学研究科 システム科学専攻
**ベイズ統計的方法に基づく
画像超解像**

カメラで撮影した画像はCCD密度やレンズ光学系における擾乱などの影響により解像度が制限されます。本研究はこのようなハードウェアの限界を超えた解像度を、ソフトウェア的に実現——超解像を実現するものです。数理統計の分野で発展してきたベイズ統計に基づき、従来の決定論的な物理的限界を、より一般的な統計的限界で置き換えることを目指しています。



学術情報メディアセンター
T2Kオープンスパコンと民間利用

学術情報メディアセンター(ACCMS)では、大学主導の創造型スパコン調達の第一弾として、筑波大・東大と共同で仕様設計を行ったT2Kオープンスパコンを、平成20年6月に導入します。また文科省の「先端的研究施設共用イノベーション創出事業」に参画するなど、民間機関による研究利用を支援する体制を整備して、高性能計算や計算科学に関する産学連携に積極的に貢献していきます。



展示発表者へのコンタクトに関して

各発表者へのイベント前後のコンタクトは、統一して下記メールアドレスにて受け付けております。受け付けた内容は、それぞれ当該研究の責任者(多くの場合、各研究室の担当教授)へ配信されます。

ict-contact@i.kyoto-u.ac.jp